

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 河原 克樹

TEL 0836-32-5161

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	898	△19.0	△21	—	△28	—	△26	—
23年9月期第2四半期	1,109	41.3	△20	—	△27	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	△1,187.22	—
23年9月期第2四半期	△895.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	1,785	709	39.7
23年9月期	1,996	831	41.7

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 709百万円 23年9月期 831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	750.00	750.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	750.00	750.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	△13.9	60	117.2	45	234.2	22	900.2	977.56

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	24,997 株	23年9月期	24,991 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	3,315 株	23年9月期	2,312 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	22,094 株	23年9月期2Q	23,165 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気低迷から緩やかな回復を見せたものの、長引く円高や電力の安定供給等への懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、消費者の節約志向を背景とした低価格化及び顧客獲得に関する競争は激しさを増しており、当社の事業領域において引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に、新規受注の獲得等一部持ち直しが見られましたが、月額利用料等の本格的な回復には至りませんでした。また、昨今の生活防衛意識の高まりにより、消費者志向が変化していることへ対応するべく顧客情報サービスを新たな商品として販売してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は898,819千円（前年同四半期比19.0%減）となりました。利益面に関しましては、ASPサービス事業における月額利用料の減収及びシステム機器事業における売上減少と一部の機器の価格下落により、営業損失21,742千円（前年同四半期は営業損失20,645千円）、経常損失28,513千円（前年同四半期は経常損失27,826千円）、四半期純損失26,230千円（前年同四半期は四半期純損失20,738千円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、新規の受注等がありましたが、本格的な月額利用料の回復とはならず、売上高は507,500千円（前年同四半期比6.4%増）となりました。月額利用料も6ヶ月累計で435,537千円（前年同四半期比2.8%減）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、既存店舗への機器入れ替えが一巡したこと及び一部の機器に価格の下落が生じた結果、売上高は233,007千円（前年同四半期比55.8%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は158,311千円（前年同四半期比50.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,785,664千円となり、前事業年度末に比べ210,832千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金が143,122千円減少いたしました。固定資産においては、工具、器具及び備品22,845千円及び長期未収入金25,393千円の減少がありました。また、流動負債では、支払手形及び買掛金41,250千円の減少がありました。純資産につきましては、709,668千円となり、122,323千円減少いたしました。主なものは自己株式の取得79,237千円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローにより使用した資金により前事業年度末に比べ147,322千円減少し、当第2四半期会計期間末には497,548千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は320千円（前年同四半期は得られた資金175,937千円）となりました。これは主に、税引前四半期純損失30,669千円の計上があったものの、減価償却費47,518千円の計上及び売上債権96,200千円の減少があった一方で、たな卸資産71,804千円の増加、仕入債務41,250千円の減少による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は21,179千円（前年同四半期は使用した資金61,937千円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,512千円及び敷金及び保証金の差入による支出7,652千円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は125,821千円(前年同四半期は得られた資金141,491千円)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出79,237千円による資金の減少によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社主要顧客である外食産業を取り巻く環境は、原材料価格の高騰やお客様の節約志向を背景とした低価格化により厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成24年5月2日付の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,171	542,048
受取手形及び売掛金	288,997	203,438
商品	388,030	446,543
その他	48,956	61,372
貸倒引当金	△6,359	△4,476
流動資産合計	1,404,795	1,248,926
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,455	10,792
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	164,763	141,917
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	84,591	88,473
有形固定資産合計	279,238	261,612
無形固定資産		
ソフトウェア	63,163	48,483
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	65,609	50,928
投資その他の資産		
出資金	136	138
長期前払費用	103,337	103,441
繰延税金資産	34,145	31,041
長期未収入金	123,455	98,061
その他	17,659	22,323
貸倒引当金	△38,040	△36,118
投資その他の資産合計	240,694	218,887
固定資産合計	585,542	531,428
繰延資産		
社債発行費	6,159	5,309
繰延資産合計	6,159	5,309
資産合計	1,996,497	1,785,664

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,977	107,727
短期借入金	549,000	549,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
未払法人税等	15,080	2,262
引当金	16,567	13,785
その他	91,993	88,523
流動負債合計	881,618	921,298
固定負債		
社債	170,000	140,000
長期借入金	100,000	—
引当金	12,886	14,697
固定負債合計	282,886	154,697
負債合計	1,164,505	1,075,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	535,020	535,136
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	322,445	279,205
自己株式	△169,002	△248,239
株主資本合計	832,062	709,701
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△70	△33
評価・換算差額等合計	△70	△33
純資産合計	831,991	709,668
負債純資産合計	1,996,497	1,785,664

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,109,428	898,819
売上原価	853,804	643,084
売上総利益	255,624	255,734
販売費及び一般管理費	276,270	277,476
営業損失(△)	△20,645	△21,742
営業外収益		
受取利息	59	50
雑収入	722	492
営業外収益合計	781	543
営業外費用		
支払利息	4,314	4,211
支払保証料	1,661	1,244
その他	1,987	1,859
営業外費用合計	7,962	7,314
経常損失(△)	△27,826	△28,513
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	2,156
特別損失合計	—	2,156
税引前四半期純損失(△)	△27,826	△30,669
法人税、住民税及び事業税	836	787
法人税等調整額	△7,924	△5,226
法人税等合計	△7,087	△4,439
四半期純損失(△)	△20,738	△26,230

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△27,826	△30,669
減価償却費	47,924	47,518
貸倒引当金の増減額(△は減少)	344	2,937
賞与引当金の増減額(△は減少)	△306	△2,782
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,696	1,810
受取利息及び受取配当金	△59	△50
支払利息	6,677	6,464
売上債権の増減額(△は増加)	△24,445	96,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	59,141	△71,804
仕入債務の増減額(△は減少)	116,915	△41,250
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,237	5,213
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,928	3,609
その他	△503	1,067
小計	191,724	18,266
利息及び配当金の受取額	59	50
利息の支払額	△7,054	△5,654
法人税等の支払額	△8,792	△12,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,937	△320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,238	△6,512
無形固定資産の取得による支出	△10,000	△5,000
定期預金の預入による支出	△4,200	△4,200
敷金及び保証金の差入による支出	△6,014	△7,652
敷金及び保証金の回収による収入	2,509	2,180
その他	6	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,937	△21,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	788,000	828,000
短期借入金の返済による支出	△708,000	△828,000
社債の発行による収入	98,940	—
社債の償還による支出	△20,000	△30,000
株式の発行による収入	—	116
自己株式の取得による支出	—	△79,237
配当金の支払額	△17,448	△16,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	141,491	△125,821
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	255,491	△147,322
現金及び現金同等物の期首残高	460,077	644,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	715,568	497,548

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、第1四半期会計期間において、平成23年12月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を1,003株（総額79,237千円）取得いたしました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己株式は3,315株（総額248,239千円）となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。